

<2030 年の SDGs 達成に向けた経営方針等>

障害の有無に関わらず活躍できる共生社会を実現します。本業の「福祉(働きがい)」と「環境(リサイクル)」を両立させ、不要 PC 等の資源化で利用者の「高い工賃」を創出します。(8, 12)「もったいない」を「ありがとう」に変え、鹿児島に貢献します。

<SDGs 達成に向けての重点的な取組み及び指標>

三側面	SDGs に関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	不要 PC・小型家電の適正リサイクルによる廃棄物削減	2028 年までに累計 50 トンの電子機器を回収・資源化する。
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	障害を持つ利用者の「働きがい」と「やりがい」の創出	利用者(18 名/日)の安定した就労機会を継続・提供する。
<input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	PC リサイクル事業の収益による「高い工賃」の実現	本事業収益により、利用者の平均工賃を全国平均以上とする。

<SDGs 達成に向けてのパートナーシップ>

鹿児島県内の企業・行政・住民の皆様と連携し(Goal 17)、不要パソコン・小型家電の回収ネットワークを構築します。「捨てる」から「活かす」への循環型社会を共に推進します。

- ・「SDGs に関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業や NPO 法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。